

令和 8 年度 主な防災対策事業

- 1 三鷹市消防団の体制強化に向けた取組** 5,827 千円

消防団員の確保及び地域の防災力の向上を図るため、消防団への入団促進に取り組むとともに、消防団装備品の充実強化を行います。
- 2 トイレカーの購入** 33,476 千円

災害時における避難生活の長期化への対応として、衛生環境の向上及びトイレの確保を図るため、自走式のトイレカーの導入に向けて取り組みます。なお、特殊車両のため令和 8 年度内の納車が困難であることから、債務負担行為を設定します。導入に当たっては、東京都の「避難所環境整備・災害時トイレ確保等区市町村支援事業補助金」を活用するとともにクラウドファンディングを実施します。
- 3 避難所運営体制の充実にに向けた取組** 3,867 千円

災害時における避難所の開設については、迅速な立ち上げと安定的な運営が課題となることから、一般の避難者が避難所運営に参画できる仕組みの導入に向けて取り組み、災害時対応力の向上を図ります。
- 4 防災行政無線等の適切な運用** 62,970 千円

災害情報を市民等に広く確実に伝達するため、防災行政無線の一部の更新と聞こえづらい地域への新規設置を行うとともに、令和 7 年度に引き続き、戸別受信機の貸与を行います。
- 5 避難所備蓄品の計画的な配備等による被災者支援対策の強化** 36,968 千円

石川県能登半島地震での教訓を踏まえ、被災者の避難所生活に必要な備蓄資機材を配備するとともに、正確な在庫管理等のため備蓄品管理システムを導入し、被災者支援の強化を図ります。また、新たに特定福祉避難所に位置づける元気創造プラザについても必要な備蓄品を整備します。
- 6 災害時在宅生活支援施設の拡充** 9,847 千円

災害時に在宅で被災生活を行う市民を支援するため、むらさき児童公園（下連雀二丁目）と牟礼下本宿児童遊園（牟礼二丁目）を予定地とし、新たに在宅生活支援施設を整備するとともに、炊き出し用設備や発電機、ワンタッチトイレ TENT 等を配備します。
- 7 NPO 法人「Mitaka みんなの防災」との連携による地域防災力向上** 22,953 千円

「Mitaka みんなの防災」との連携により、地域全体の自助と共助の防災力向上の取組を進めます。令和 8 年度は、「黄色いタスキの日」を制定しタスキの市内一斉掲示訓練を実施するほか、市立小・中学校での防災教育に携わる、地域人財（ぼうさいの先生）を育成し、学校と地域が連携した防災授業を実施します。また、三鷹市防災キャラクター「じじよまる」のグッズ開発を通して、防災意識の更なる向上に取り組めます。

8 「三鷹市地域防災計画」の改定

228 千円

令和7年度に策定した「三鷹市受援・応援計画」をはじめとした市の防災に関する計画や方針の策定状況及び「東京都地域防災計画」の修正状況を踏まえ、「三鷹市地域防災計画」の改定を行います。

9 災害時における要支援者・要配慮者の支援体制の強化

8,931 千円

令和7年度に策定した「今後の福祉避難所のあり方に関する基本的な考え方」を踏まえ、令和8年度は、元気創造プラザを活用した福祉避難所の運営体制の方針を策定します。また、個別避難計画の対象者を拡充するなど、災害時における要支援者・要配慮者の支援体制の強化を図ります。

10 国立天文台と連携したまちづくりの推進

27,032 千円

国立天文台敷地の北側ゾーンの土地利用転換を契機とし、まちづくりの目標である「天文台の森を次世代につなぐ学校を核とした新たな地域づくり」の実現に向け、大沢地域・国立天文台と協働のまちづくりを進めます。防災・減災の視点を基本としながら、地域の共有地「コモンズ」の創出を図ります。